

終末期高齢者の在宅での看取りの実現に向けた看護に関する研究

看護学科（終末期看護） **植田 春美** う え だ は る み

● 連絡先 TEL：054-202-2942
E-Mail：edarumi@u-shizuoka-ken.ac.jp

キーワード

終末期高齢者、在宅看取り、退院支援



我が国の高齢者の約半数は、自宅で最期を迎えたいと回答しています。一方で、2022年における65歳以上の者の死亡場所は65%が病院であり、在宅での死亡は16%にすぎません。自らが希望した場所で最期を迎えることは、望ましい死を迎える重要な要素とされています。しかし、実際には多くの高齢者が病院で死亡しており、希望と現実の乖離が生じています。そこで、高齢者の看取りの場を病院から自宅へと移行させる取組みが必要だと考えています。

入院中の高齢者が退院し自宅で最期を迎えるためには本人だけでなく家族の意向が重要だとされています。そこで、終末期の高齢者を病院から退院させ、在宅での看取りを実現させた家族の体験を研究テーマとし、在宅での看取りに向けた看護支援について検討しています。

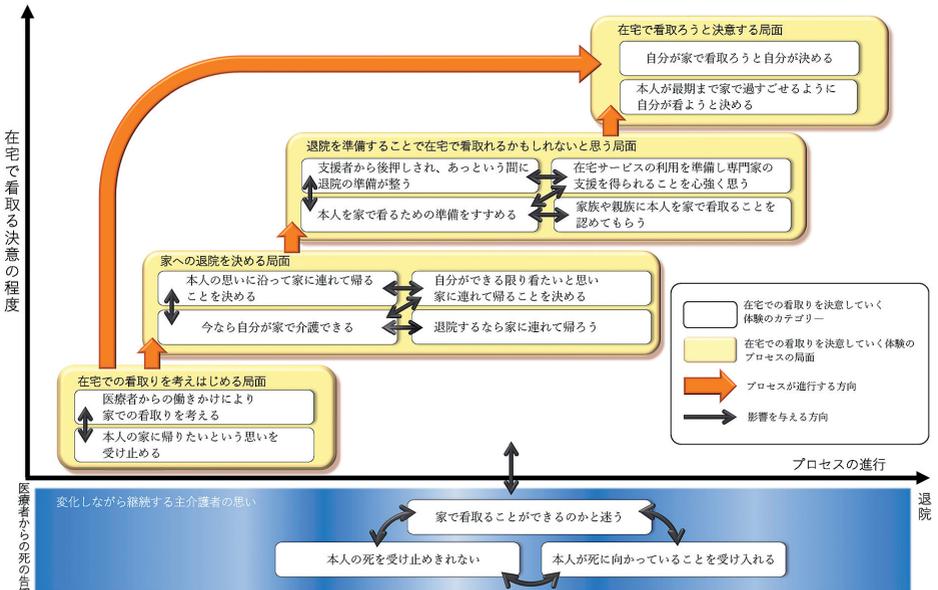


図1 入院中の終末期高齢者の主介護者が在宅での看取りを決意していく体験の全体図

アピール ポイント

誰もが最期まで自分らしく生きることを支える看護について、一緒に考えていきましょう。